

令和 6 年 4 月 定例教育委員会

日 時 令和 6 年 4 月 23 日（木） 9 時 30 分～

場 所 市役所 4 階 第 3 委員会室

出席者

（教育委員）

松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員 西沢委員

（事務局）

陣内教育長 大藤教育総務部長 溝口総務課長 田村社会教育課長 武尾文化財課長
富野学校教育部長 鳩山学校教育部次長兼学校教育課長 木下学校教育部次長 藤原
学校保健課長 高橋教育センター所長 峰松総務課長補佐兼庶務係長、吉田総務課主
査

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

（1）教育長報告

（2）令和 6 年 2 月分 議事録確認

（3）議 題

① 佐世保市立学校物品会計規則の一部改正の件（総務課）

（4）協議事項

① 学校における働き方改革について（学校教育課）

（5）報告事項

① 令和 6 年 3 月定例会における一般質問答弁について

② 令和 6 年度教育委員会の活動方針について（総務課）

③ 令和 6 年度前期教育委員会開催案について（総務課）

④ Sasebo Expoの開催について（社会教育課）

⑤ 福井洞窟保存活用計画の策定について（文化財課）

⑥ 佐世保市指定文化財の新規指定について（文化財課）

⑦ 令和 6 年度学校訪問実施計画について（学校教育課）

⑧ 令和 6 年度教職員研修の利活用について（教育センター課）

（6）その他

① 次回開催予定について

② ③を秘密会とする件

③ 佐世保市立学校の生徒指導事案にかかる取扱いについて（学校教育課）

◆教育長報告

- 4月 8日 小中学校始業式
- 4月 9日 中学校入学式
- 4月10日 小学校入学式

(1) 教育長報告・議事録確認

【陣内教育長】

4月の定例教育委員会を開催いたします。まず私から報告ですが、3月21日に3月の定例教育委員会がございまして、4月8日に始業式、9日、10日に入学式がございました。1ヶ月のトピックとして1つご紹介させていただきたいのが、寄付行為がたくさんございました。聖和女子学院の同窓生から小学生に素敵な絵本をいただきました。管工事組合から100万円の寄付があり、小中学生に本を買ってあげてほしいとのことでした。また、自治振興会からも寄付をいただき、明社協からはオアシスホルダーをいただきました。

それから学校教育審議会が、3月21日、28日、4月18日の3回開催されております。これが校則問題をどう考えましょうかというもので、これからの新しい学校教育と校則とはどうあるべきかをご審議いただいています。私の方からも、委員の皆様には、校則というものが、縛るものではなくて、子供たちの育ちの中で、救済としてどうあるべきなのかを答申いただけませんかということで、興味深い審議がなされております。案内は委員さんたちに差し上げております。また結論が出ましたら、皆様の方には丁寧にご報告させていただきたいと思っております。以上でございます。

2月分の議事録の方の確認はよろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。それでは議題に入ります。「① 佐世保市立学校物品会計規則の一部改正の件」について、事務局から説明をお願いします。

(2) 佐世保市立学校物品会計規則の一部改正の件

【溝口総務課長】

議題資料P1～P3により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。今の議題につきまして委員の方からのお尋ね、ご意見等がございますか。

【中村委員】

今までだったら10万円を超えるパソコンを買うときに、入札、契約みたいな手続きをしないと買えなかったのが、10万円を超えるパソコンも、校長先生の権限で、発注ができるという解釈でいいでしょうか。

【溝口総務課長】

はい。10万円を超えるものも20万円以下であれば各学校長の判断で購入できるという形になります。

【中村委員】

そうでなければ事務手続きがあまりにも煩雑ではないかと思しますので、賛成でございます。

【陣内教育長】

ありがとうございます。では、1つ目の議題については必要ということで議決をいただいたということにさせていただきたいと思えます。議題はまず1つで、次は協議事項になります。

（３）学校における働き方改革について

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

協議事項資料P1～P3により説明

【陣内教育長】

私から確認させてください。1ページの一番上の成果目標に対する実績のところですが、これ80時間超過勤務の出現率と45時間超過勤務の出現率というのは、45時間超の中に80時間超も概念としては含まれると思えますが、これは含んだ数ですか。分けた数ですか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

分けた数として提出していただいています。

【陣内教育長】

分けた数ですね。令和5年度、中学校の場合は、45時間の37.7%に80時間の5.2%を足した42.9%が、実質は45時間を超えているとのことですね。

【古賀委員】

2ページに副校長・教頭の数字がありますが、それもこの1ページの数字には含まれているということですね。

3ページの勤務時間をリアルタイムで把握するシステムというのを導入したいということですが、今は、自分で計算しないとわからないということですか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

現在のシステムですと、教職員は累積でどれぐらいの時間、勤務しているのかを知ることができない状況にあります。その分を教頭が集約しまして、月に1回か2回程度、現状把握をしています、それが教頭の業務負担にもなっているというのがございます。

【陣内教育長】

それについては、令和3年度に変えましようとなりましたが、その時すぐにC4thに変わるため、今変えると負担になるからC4thの導入を待って変えましようとなったと思えますが、C4th導入ではどのようなになっていますか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

県が全ての学校に求めている超過勤務の調査が毎月行われますが、その超過勤務の原因となる選択項目が、県が求めている項目とC4thの回答項目が一致していない状況がございます。県の調査項目に合わせて回答するとなると、そこでまた学校が集計し直さなければならないという、矛盾した事がございます。

【陣内教育長】

C4thは県が推奨しているシステムですよね。推奨しているシステムが県の調査と合わないなら、県の調査がどうしても必要な調査項目だったら、推奨しているシステムの機能改善をする

とか、県の推奨システムから出てくるのに調査項目を合わせるとかそういった申し入れをしていないんですか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

様々な市町からそういった声が上がってきているらしく、今年度見直しがなされる予定であると伺っておりまして、この機会に見直しを求めたいと思っております。

【陣内教育長】

強く求めてください。

【西沢委員】

今の話題に関連して質問させていただきたいです。そのC4thの機能というのは、ただただ出勤を打刻するだけではなくて、どうして超過してしまったか理由を入力する機能があるということですか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

はい。その機能がございます。それぞれ教職員が超過した理由を項目の中から選択するようになっております。

【西沢委員】

それを入力することによって、どうして超過したのかというところを県が集約したいから行うという認識であっていますか。それは何のためでしょうか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

まずは、本人の業務改善と言いますか、自身の業務のマネジメントの材料にはなってくるのかなと思っております。当然、全県下で取り組むべきこと、市教委として取り組むこと、そういったものの改善ポイントにも資料としてはなってくると思っております。今回、添付するには至りませんでした。そうした傾向があるということで分析成果、課題を含め、超勤の理由として、何が多かったのかという報告は学校から提出をいただいているところでございます。

教職員は確実に子供と向き合う時間は長くなっていると確信をしているところですので、質の改善を図りながら、次のアクションプランにも反映させていただきたいと考えています。

【富野学校教育部長】

後程、学校教育の今年度の方針ということもお伝えさせていただきますが、保護者と連携を取る際の一定のガイドライン、手引き的なものの必要性を非常に感じているところです。昨年のいろんな事案も含めて、研究する材料になるかと思っておりますので、先ほどの中身のご意見も含めて、研究を進めていきたいと思っております。

（４）令和６年３月定例会における一般質問答弁について

【大藤教育総務部長】

報告事項資料Ｐ１～Ｐ２９により説明

【松野教育長職務代理者】

６ページのところに校内教育支援センターを設置するということで、令和６年度に中学校１０校に各２名ずつ配置するとありますが、どのような形で支援されていくのかということが１点と、もう１点、７ページの方に夜間中学のニーズが把握できたというところがあります。どの程度のニーズがあったのかということが確認できればと思っています。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

まず、校内教育支援センターの配置についてですけれども、この中学校１０校への２名については、これまで配置しておりました心の教育相談員さんを中心に募集をかけて、配置をしています。午前と午後と、業務時間を分担しながら、子供たちがその教室にいる時間、確実に配置して向き合うことができるように、配置計画を立てているところです。

それから、夜間中学のニーズ調査ですけれども、１２月に市のホームページを使用しまして、アンケート調査を行いました。回答を５０件ほどいただきまして、アンケートに答えていただいております。

その中で、条件が合えば入学をしたいという方が、１０名から２０名程度いらっしゃったかと思います。また、条件が合わずとも、とにかく学びたいとおっしゃる意見もいただいています。ただし、アンケートにすぎませんので、これから丁寧にお一人お一人と説明させていただきながら、こちらからも条件を提示し、さらなる応募者数の確保につなげていきたいと思っています。

【陣内教育長】

もう１年を切っていますので、いつごろ説明をして、いつごろ入級の意思確認をするとか、今後の見通しをお聞かせください。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

夏までには入学説明会を開催したいとは考えております。その前には、もう一度、入級の意思確認をさせていただきながら、その説明会にお見えになった方々と、希望する教育課程など、細かに詰めていく必要があるかと思っています。

秋頃には、入学者を確定したいと思っています。これがざっくりとした今後の見通しになります。

【陣内教育長】

はい。よろしくお願いします。

【古賀委員】

夜間中学及び学びの多様化学校は、小学生も含まれますか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

私どもが考えている夜間中学につきましては、中学生以上を対象としております。また、研究を進めております学びの多様化学校につきましては、小学生も対象に含めたものというふうに考えております。

【陣内教育長】

はい。ありがとうございます。

（５）令和６年度教育委員会の活動方針について

【大藤教育総務部長】

報告事項資料Ｐ３０により説明

【富野学校教育部長】

報告事項資料Ｐ３１により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。

令和6年度の学校、それから教育の主な取り組み内容ということで説明でしたが、これまで当初予算の説明や、学力向上本部会議などいろんなところで皆様のご意見をいただきながら、改めて今年度の活動内容をまとめて報告した形でございます。

お尋ね等ないでしょうか。

【松野教育長職務代理者】

2点申し上げたい。31ページの「◆経済的負担の軽減」の給食費中3無償化に伴う私立・県立中学生及び不登校生徒等へのケアという部分は、具体的にどのような形で行われるのかということと、下の方から5行目、②部活動地域移行モデル事業というのはどのような形で行っていくのか確認ということでお尋ねしたいです。

【富野学校教育部長】

実際、私立・県立中の生徒については学籍上で把握できますが、不登校の生徒については、完全に停止をしている生徒や、学校登校復帰がいつかわからないので、給食は止めないという生徒など、いろいろなパターンがありますので、どのような経済的なケアができるか検討していきたいと思っております。

【陣内教育長】

部活動地域移行モデル事業については委員さん方にも詳しく知っていただきたい部分もありますので、次回、特集で説明を受けましょうか。

【全教育委員】

お願いします。

（6）令和6年度前期教育委員会開催案について

【溝口総務課長】

報告事項資料P32により説明

【陣内教育長】

これは案として、事務局が作っていますが、ご異議がなければ、これでよろしいでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

では、準備のほう、よろしくお願いします。

（7）Sasebo Expoの開催について

【田村社会教育課長】

報告事項資料P33～P34により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。なにかご質問がありますか。

【中村委員】

対象者は小学生、中学生が対象ですか。

【田村社会教育課長】

年齢は問わないという形で募集をかけさせていただいております。

【中村委員】

こんなに集まっているというのは、米軍の学校がまとめて申し込んでくださっているということですか。

【田村社会教育課長】

そうです。今回、5月3日が日本では祝日ですがけれども、基地内においては祝日扱いではなくて平日ということで、通常の授業をされており、授業の一環として、先生方も引率の上、ご来場いただけると聞いております。ということで、180人はアメリカの小学生の数、それに付随しての先生方や、あと保護者の方も同行いただけるかというふうに思っているところでございます。

【中村委員】

すごい参加者数だなと思いましたので、質問でした。成功を祈っております。

【田村社会教育課長】

ありがとうございます。

（８）福井洞窟保存活用計画の策定について

（９）佐世保市指定文化財の新規指定について

【武尾文化財課長】

報告事項資料P36～P46により説明

【陣内教育長】

福井洞窟は今、国の指定史跡になっていますが、これを特別史跡に、1つランクを上げていただきたいと思います。

史跡の中の国宝と呼ばれるのが特別史跡です。今は特別史跡の中では一番古くても、縄文時代ぐらいです。今回はその前の旧石器時代の遺跡でして、特別史跡に指定されると、今までの歴史の中で一番古い特別史跡となり、そちらを目指しています。そのためにはどうやって保存活用していくのかをしっかりと計画を立てていかないと難しいとのアドバイス等もありまして、今回、このような作業をしていきたいということです。

また、確認ですが、シダ植物のほうは指定したことの報告ですか。指定することの報告ですか。

【武尾文化財課長】

指定したことの報告になります。教育長の権限の中で、指定したという方針決裁をとった形になります。

【陣内教育長】

わかりました。文化財の指定に関する審議会があり、その際に、文化財にするべきですよとの答申が出まして、それを指定しますということです。よろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

(10) 令和6年度学校訪問実施計画について

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

報告事項資料P47～P48のより説明

【陣内教育長】

確認します。教育委員さんたちに出席をお願いするのはSA訪問がマストで、A訪問とB訪問はご希望があればどうぞという形ですね。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

はい。教育長のおっしゃる通りです。B訪問につきましてもこちらからは案内をさせていただきたいと思いますので、ご意見をいただければありがたいと思います。

【松野教育長職務代理者】

B訪問もご案内があるということですか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

はい。B訪問につきましても、全委員さんにご案内をさせていただきます。

【陣内教育長】

スケジュールは1学期分が入っておりますので、SAのところはチェックをお願いいたします。お尋ねはありませんか。

【全教育委員】

はい。

(11) 令和6年度教職員研修の利活用について

【高橋教育センター所長】

報告事項資料P49からP54により説明

【陣内教育長】

教員免許更新制度が話題になったのを覚えていらっしゃいますか。あれを見直すということで、普段の教育の中でも公務員特例法により研修が義務づけられておりますので、その研修をより効果的、体系的にやっていくことで、免許更新ではなくて、質の担保をしていこうというテーマになります。指標や指針を作り、それに基づいて、履歴を管理して、正しい方向性、求められる資質を担保していこうという方向に向かっておりまして、それがいよいよ今年度スタートするということです。オンデマンド研修なども含めて、そういった機会も充実しておりますので、その利活用をということでございます。ほかにお尋ねはありませんか。

【中村委員】

履歴が残るということは、システムが稼働した場合、どの先生がどれだけ学ばれたかっていうのを、本人以外にどなたが見ることができるのでしょうか。

【高橋教育センター所長】

おそらくですけども、教育委員会の人事管理担当も見ることができるようになると思います。

【中村委員】

そうすると、どこの先生がどれだけ自主的な学びをされているかが見える化されるということになるということでしょうか。

【高橋教育センター所長】

はい。

【中村委員】

一定研修が少ない先生には、学校長が紹介することもできるということで、そういった目標管理ができる仕組みが考えられて、見られているからだけでなく、前向きな気持ちで、先生たちが学べるようなシステムだったらいいなと感じます。

【陣内教育長】

教育センターだけの話ではないと思いますので、学校教育課も含めて各教育部門で連携してあたっていく内容ということです。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -